



小石原事務所（第7回福岡県木造・木質化建築賞で大賞を受賞。）

○本社所在地：福岡県朝倉郡

東峰村大字小石原961番地の2

○事業概要：総合建設業（土木・建築）

- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・廃タイヤリサイクル事業
- ・飲食業

○常時使用する従業員：51名（2026年3月期）

○現在の売上高：12億円（2026年3月期）

○法人番号：8290001044159

○Web：https://hitaya.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
柳瀬 謙二

地域の発展を目指す会社（九州最大級の廃タイヤリサイクル拠点確立への挑戦）

昭和46年（1971年）の創業以来55年にわたり、東峰村・朝倉郡の地域インフラを支え続けてきた株式会社ヒタヤは、廃タイヤリサイクル事業を成長の主軸に据え、大型廃タイヤ破碎設備（ORタイヤ対応）の導入によるゴムチップ製造で九州最大級の廃タイヤリサイクル拠点確立へ挑戦する。再生可能エネルギー・循環型社会への需要拡大を確実に取り込み、廃タイヤリサイクル事業を東峰村拠点で本格展開することにより、九州最大級の総合リサイクル・インフラ企業へと飛躍し、2043年に売上高100億円を達成することを、ここに宣言する。100億円を通過点とし、地域に根差した100年企業として、地域雇用の創出・年率5.5%以上の賃上げの継続的実施・脱炭素社会の実現に貢献し続ける、真の地域リーディングカンパニーを目指す。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2043年に売上高100億円達成を目指す。
現在の売上高12億円から、廃タイヤリサイクル事業を年商1億円→70億円へと大幅拡大させ、年率約20%の成長を目指す。
～2027年：廃タイヤ収集網の構築・大型廃タイヤ破碎設備の発注準備。売上17億円へ。
～2030年：大型廃タイヤ破碎設備稼働開始・ゴムチップ製造本格化・大型ORタイヤ対応。廃タイヤ主軸事業で九州全域展開を実現。売上35億円へ。
～2034年：九州No.1リサイクル拠点を確立。M&A・設備増強で売上60億円へ。
【最終目標】
～2043年：売上高100億円を達成し、中国・四国地方への展開も視野に入れた総合リサイクル企業へ。今後さらなる飛躍を実現し、100億円はあくまで通過点であり、地域雇用の創出・賃上げ・脱炭素社会の実現に貢献し続ける地域に根差した100年企業の確立が真の最終目標である。

課題

- ①大規模設備投資（10億円）の資金確保
大型廃タイヤ破碎設備（ORタイヤ対応）を中核とする廃タイヤリサイクルライン一式（10億円）の資金確保が第一の課題。ICT施工・DX化による少人数高生産性体制への転換を推進する。
- ②産業廃棄物処分業許可の取得と業務体制の整備
㈱ヒタヤ本体で廃タイヤ中間処理業許可を取得（小規模：6ヶ月／大規模：1～2年）。取得までは産廃処分業許可を有する事業者との業務委託契約により連携し、事業の即時立ち上げを実現する。
- ③人材確保・育成と賃上げの持続的実施
現状51名の従業員体制から2043年200名超へ段階的採用。地元優先採用とICT建機の活用で少人数高生産性体制を構築。補助事業終了後3年間、年率5.5%以上の賃上げを確実に実施する。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・廃タイヤリサイクル事業の飛躍的拡大【主軸・売上70億円へ】
大型廃タイヤ破碎設備（ORタイヤ対応）導入でゴムチップ製造を本格化。処理能力5～10倍拡大、大型鉱山ダンブタイヤも処理可能。九州全域→中国・四国地方へ展開し、年間82,000tを処理、国内シェア約12%を確保。
- ・土木公共工事のエリア・受注拡大【安定基盤・売上15億円へ】
ICT施工（ドローン・BIM/CIM）全現場展開で生産性向上。福岡県全域・大分県・九州全域へエリア拡大。国土強靱化5か年加速化対策予算を積極取込。
- ・新規事業・M&A展開【成長ドライバー・売上10億円へ】
- ・造園・kutsurogi+の質的向上【地域ブランド・売上5億円へ】
2030年頃までにリサイクル関連の同業M&Aを実施。廃タイヤ以外の再生資源事業（廃木材・建設発生土等）にも展開し、循環型経済のリーディングカンパニーへ。
kutsurogi+（東峰村）の集客力強化。地域観光・食文化発信の拠点として確立。

実施体制

- 【申請主体】 株式会社ヒタヤ 代表取締役 柳瀬 謙二
全社の経営戦略・投資判断・対外折衝・補助事業の統括責任者。
- 【㈱ヒタヤ】 土木事業部・廃タイヤリサイクル事業部（新設）
土木建設工事の受注拡大とICT施工の全現場展開を推進。
廃タイヤリサイクル事業部が大型廃タイヤ破碎設備の稼働・営業・販売を担い、九州全域→中国・四国地方への展開を推進する。
- 【外部支援体制】
金融機関：メインバンク
認定支援機関：公認会計士事務所
設備供給：大型廃タイヤ破碎設備メーカー（海外）
：世界トップブランド（国内）

売上高100億円実現に向けた成長戦略

株式会社ヒタヤの概要と成長戦略

【株式会社ヒタヤ】昭和46年（1971年）創業。福岡県朝倉郡東峰村を拠点に、道路・河川・法面・上下水道等の公共土木工事を主力事業とし、55年の業歴を有する地域インフラの担い手。ICT施工（ドローン・BIM/CIM）を積極導入。廃タイヤ収集運搬事業を新たな成長主軸として、大型廃タイヤ破碎設備（ORタイヤ対応）導入によるゴムチップ製造で九州最大級の廃タイヤリサイクル拠点確立を目指す体制を構築。造園・外構・庭石販売・廃タイヤ破碎リサイクルおよびカフェ「kutsurogi+」を展開。2017年の九州北部豪雨では災害復旧工事の最前線に立ち、地域の安全・安心を支えた。法務省をはじめ複数省庁の競争参加資格を取得。

【4重収益構造による飛躍的な収益拡大】大型廃タイヤ破碎設備の導入により、廃タイヤ1tあたりの収益を従来の約8.5倍に拡大。①処理費（受入）②ゴムチップ販売③スチール販売④ファイバー販売の4重収益構造を実現。人工芝・ゴム舗装・スポーツ施設等の需要拡大市場向けに安定販売し、廃棄物処理業から資源製造業への転換を実現する。

【100億円達成ロードマップ】 Phase 1（～2027年・売上17億円）：廃タイヤ収集網の構築・大型廃タイヤ破碎設備の発注準備／Phase 2（～2030年・売上35億円）：設備稼働開始・ゴムチップ製造本格化・九州全域展開／Phase 3（～2034年・売上60億円）：九州No.1リサイクル拠点確立・M&A・中国・四国地方への展開／Phase 4（～2043年・売上100億円）：廃タイヤ70億+土木15億+新規M&A 10億+飲食部門5億の構成、従業員200名超、国内シェア約12%を確保。

